

6 - 6 近畿・中国・四国地方の地震活動（1994年5月～10月）

Recent Seismic Activity in and around the Kinki, Cyugoku and Shikoku Districts (May-October, 1994)

大阪管区气象台

Osaka District Meteorological Observatory, JMA

第1図は、1994年5月から10月までの大阪管区气象台で決定した震源に基づく震央分布図である。日付けとマグニチュード（以下M）などが付してあるのは、M4.0以上の地震である。このうち注目される活動としては、5月8日紀伊水道の地震、5月28日滋賀県中部の地震、6月28日京都府中部の地震があげられる。ここでは京都府中部の地震について取り上げる。この期間の後であるが、11月9日から兵庫県南東部（猪名川町付近）で地震が多発したのでそれについても概観する。また、滋賀県中部の地震については本巻別項にて記述する。

6月28日京都府中部でM4.6の地震が発生した。第2～4図は、それぞれこの地震に関する震度表、メカニズム解、および地震活動図である。有感範囲は近畿地方ほぼ全域と、中部・中国地方の一部であった（第2図）。気象庁で求めたメカニズム解（第3図）や、活断層・余震域から推定すると、震源の断層は北西-南東走向を持った左横ズレによるものと考えられる。余震は7月6日頃まで多発していたが、その後急速に減少した。しかし、その後も活動は弱いながらも続いており10月末までに46個を数えた（第4図）。

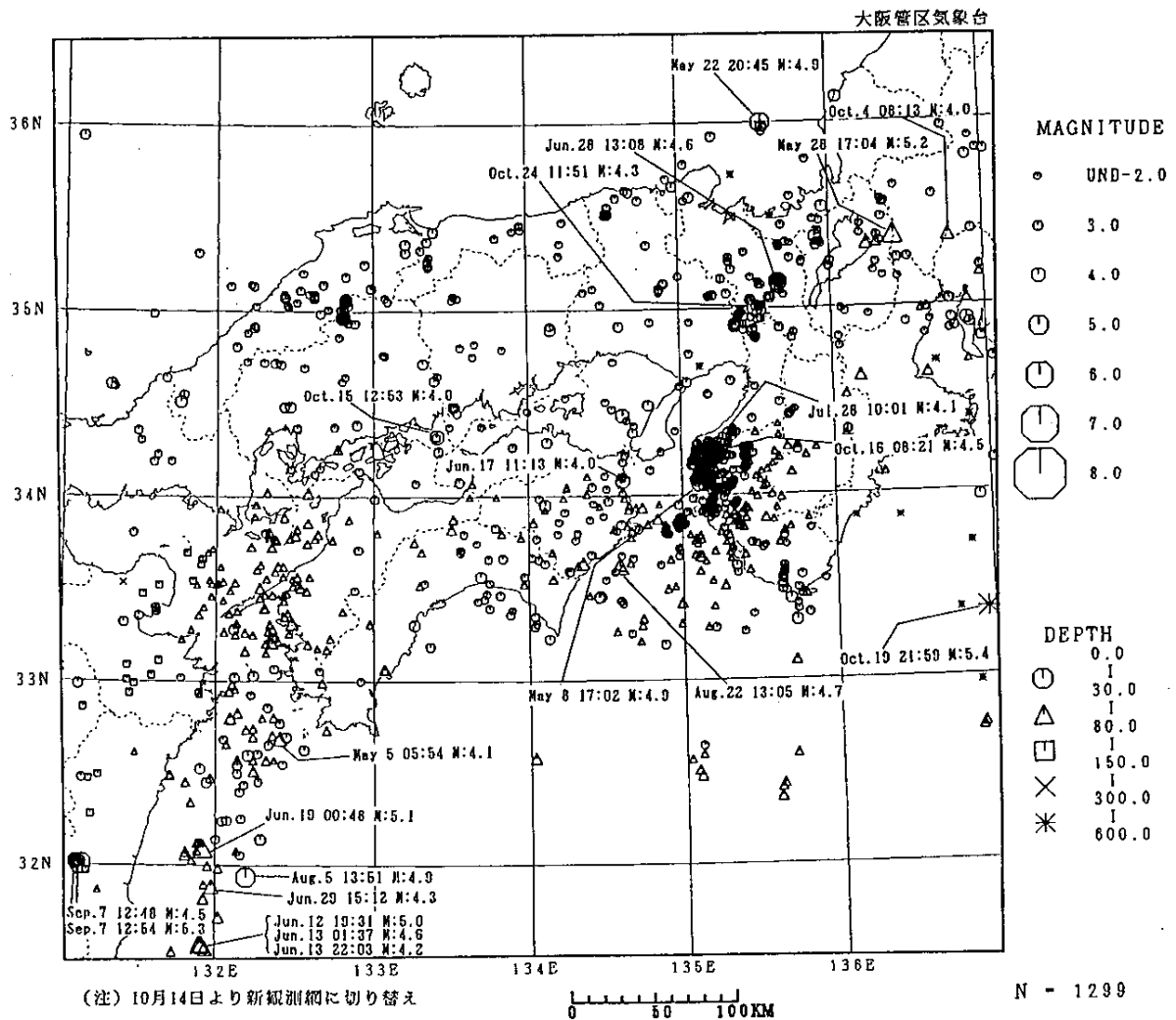
今回の震源周辺の活動状況を見てみると（第5図）、1926年以降、特に顕著な活動はない。そのうち最大のものは、1968年8月の和知の地震（M5.6）であり、この時は綾部市や和知町及びその周辺で軽微な被害が発生し、有感余震は全部で9回を数えた。また、最近では1987年5月亀岡市付近で発生した地震（M4.9）により、有感9回を含む余震が観測されている。

11月9日20時27分兵庫県南東部でM4.1の地震が発生した。その後、地震が多発し10日0時38分に発生したM3.9の地震により、奈良で震度2を観測したのをはじめ大阪・京都等では震度1を観測した（第6図）。地震活動は16日頃まで活発であったが、それ以降徐々に減少し、27日以後（11月30日現在）は発生していない（第7図）。この間震源決定数は総計91個である。気象官署で有感になったのは前記2地震だけであったが、震央付近の兵庫県猪名川町周辺ではかなりの地震が有感になっており、また、鳴動も伴っていた（猪名川消防本部による）。

この付近の最近の活動状況を見ると、本年7月27日頃に今回の活動域の南西側でM3.6の地震を最大に6個の地震が発生している（第8図）。今回の活動は、その活動域と重なりながら主として北東側に発生したものである。第9図は、1984年以降のM4.5以上の震源分布図である。この10年余りの間に、1984年5月5日（M4.6）、1987年5月28日（M4.9）、1994年6月28日（M4.6）と3個発生しており、1984年の地震ではほとんど余震活動はなかったものの、最近の2個の地震は余震活動が比較的活発であった。

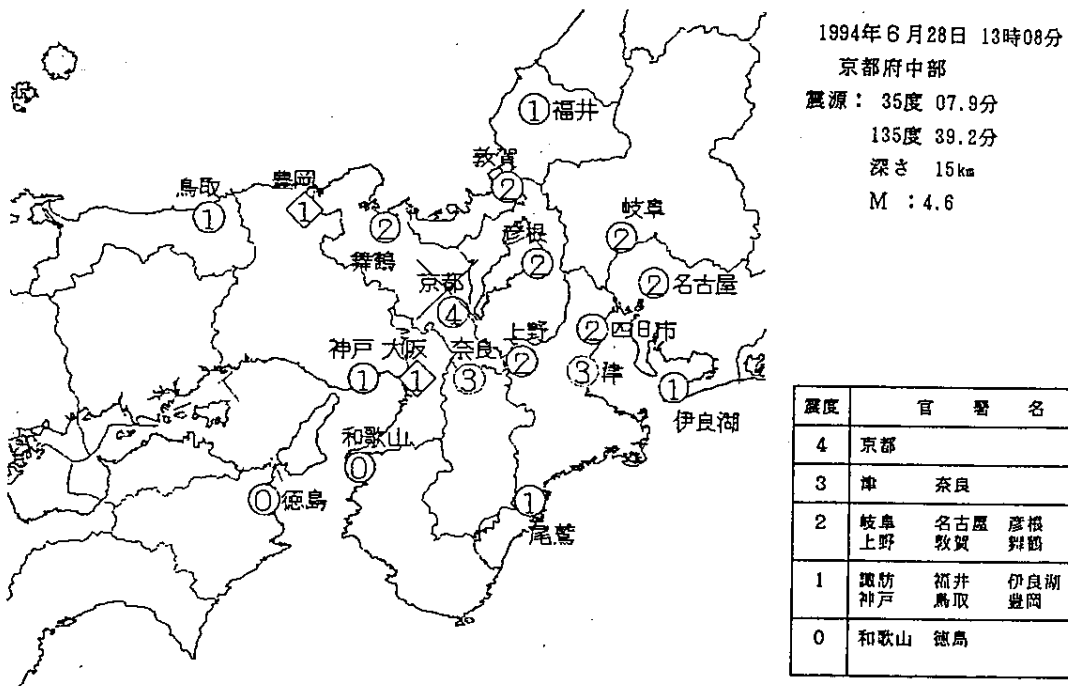
近畿・中国・四国地方の震央分布図

(1994/5/1 0:0-->1994/10/31 24:0)



第1図 震央分布図(1994年5月~10月)

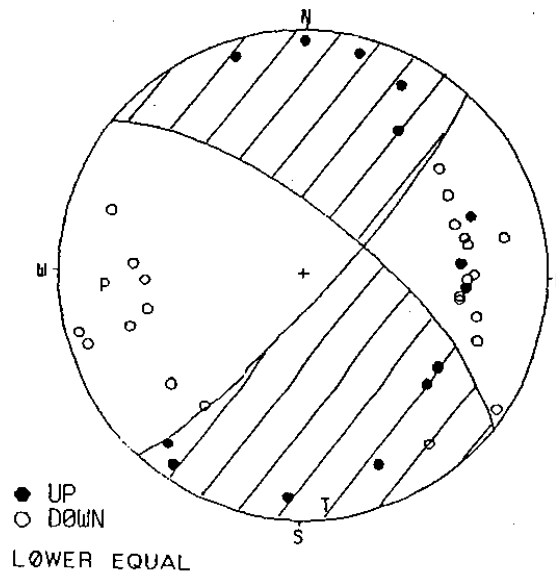
Fig. 1 Epicentral distribution (May-October, 1994).



第2図 京都府中部の地震の震度分布図 (1994年6月28日 M4.6)

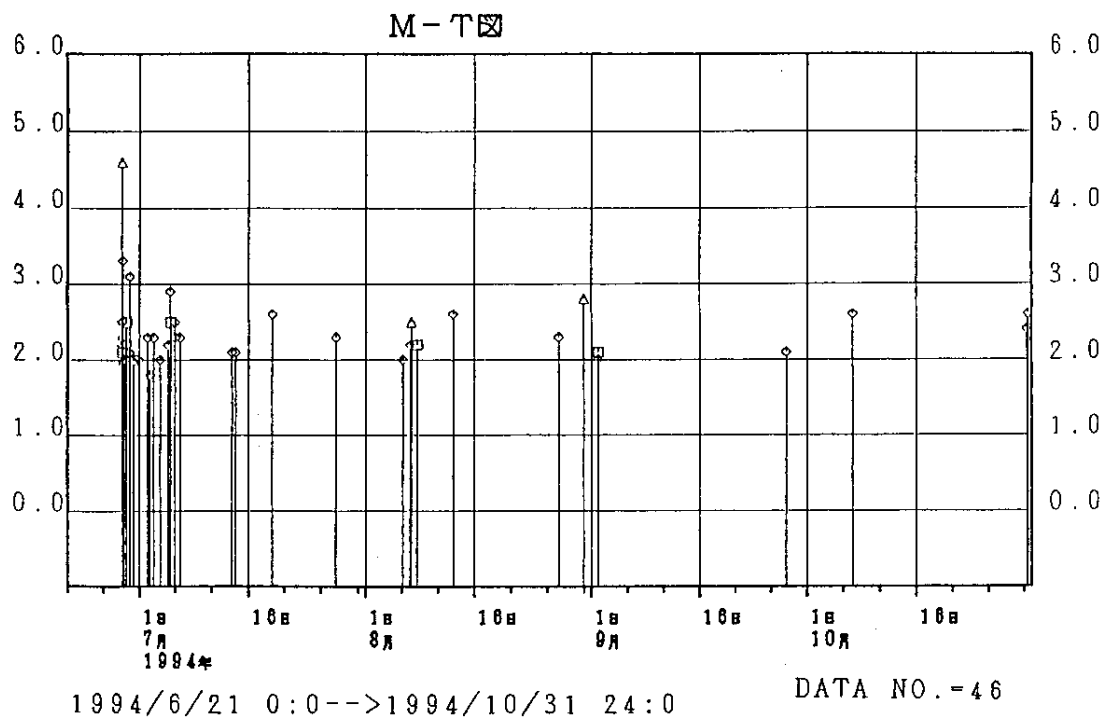
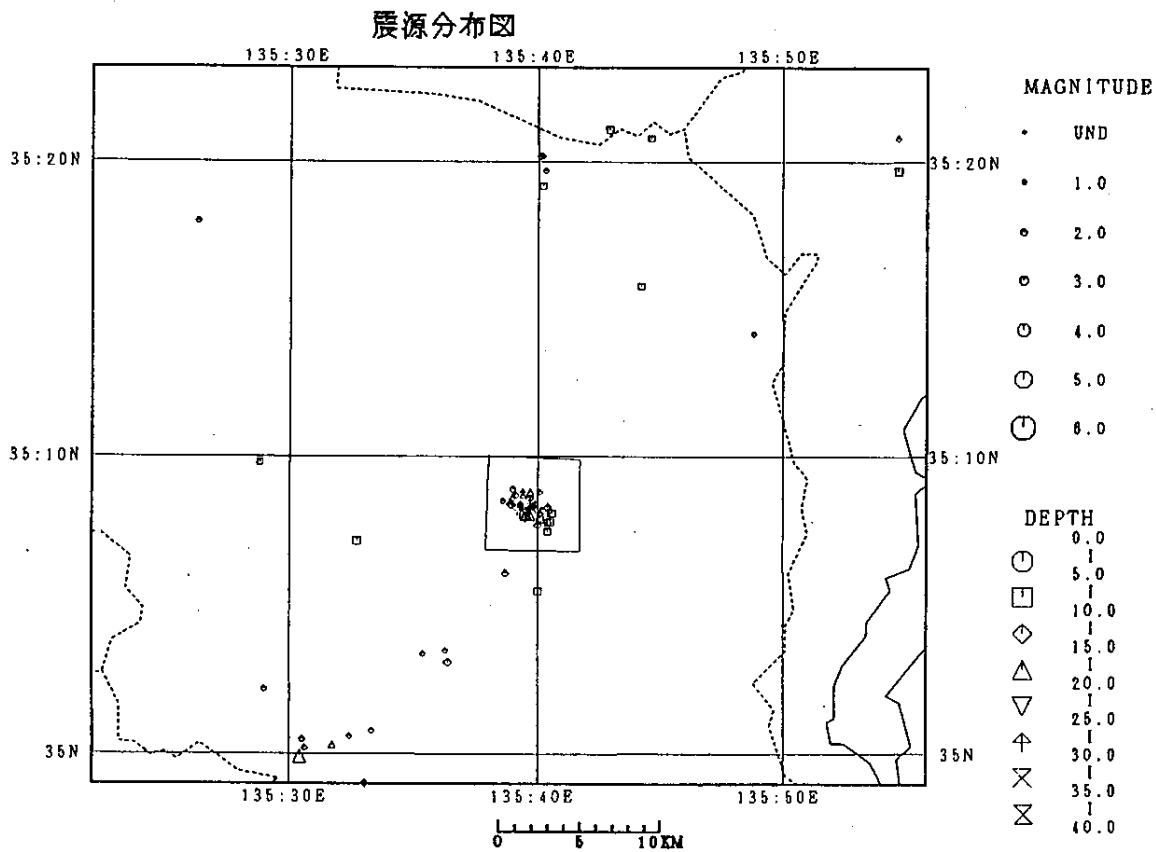
Fig. 2 Distribution of seismic intensities for the earthquake (M4.6) in the central part of the Kyoto Prefecture, June 28, 1994.

1994. 6. 28 「京都府中部の地震」

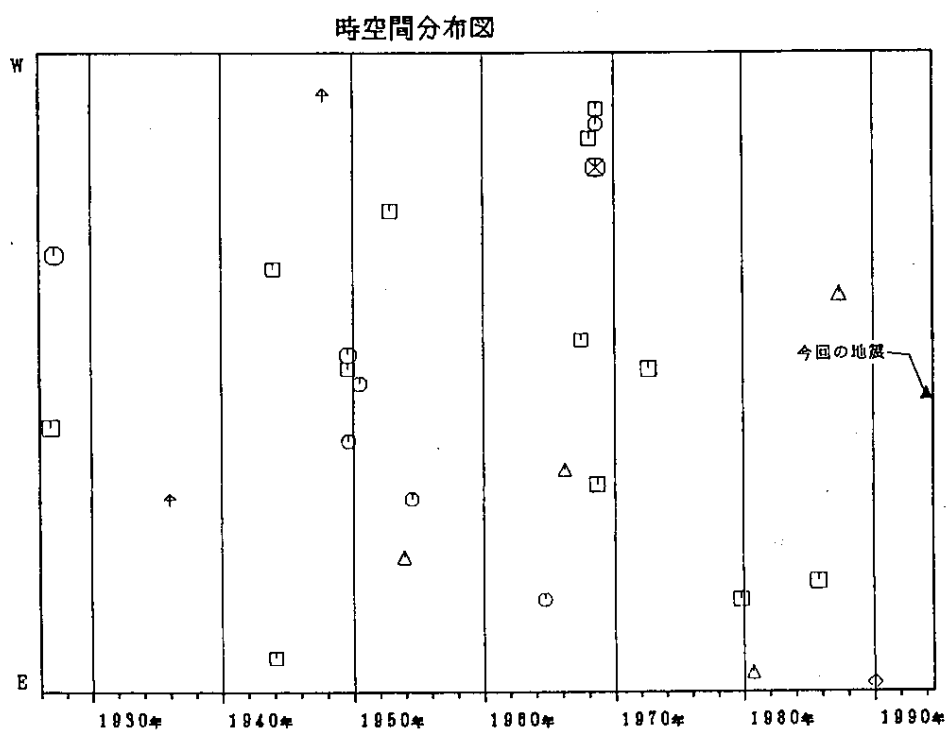
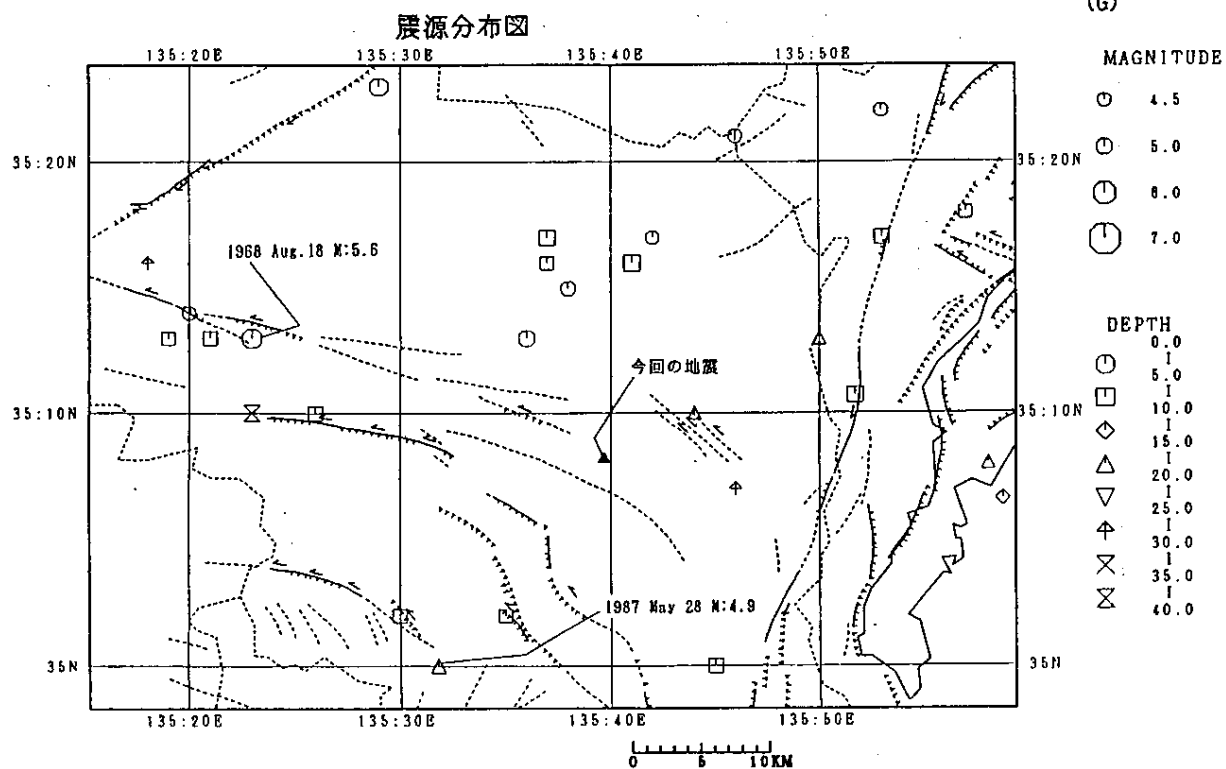


第3図 発信機構 (下半球投影) : 押し : 引き

Fig. 3 Focal mechanism solution (projected on the lower hemisphere). : up. : down.



第4図 震源分布図およびM - T図 (1994年6月21日~10月31日)
 Fig. 4 Hypocentral distribution and M-T diagram (June 21-October 31, 1994).

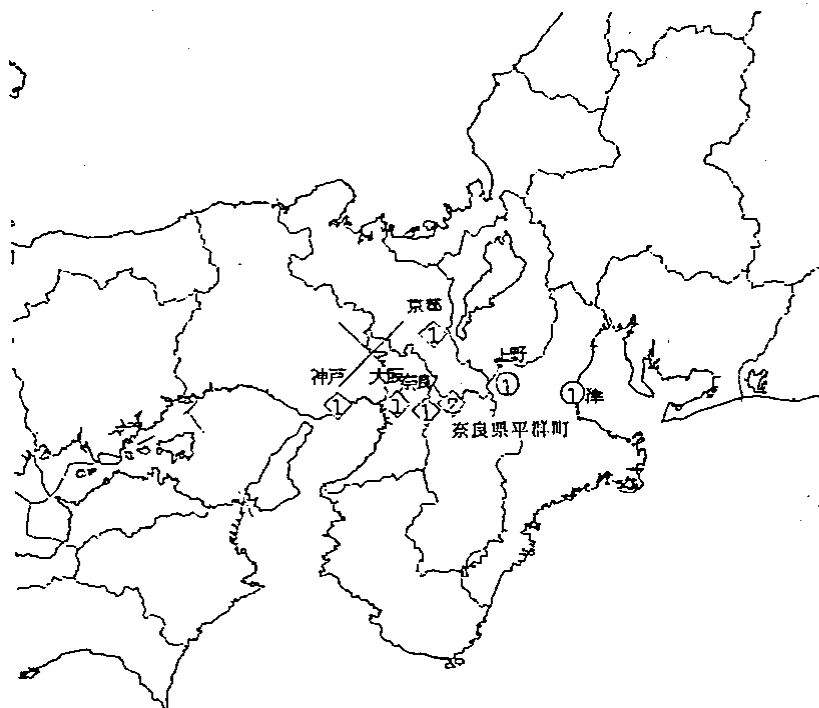


1926/1/1 0:0-->1994/7/31 24:0

DATA NO. = 28

第5図 震源分布図および時空間分布図 (1926年1月1日~1994年7月31日)

Fig. 5 Hypocentral distribution and space-time plot (January 1, 1926-July 31, 1994).

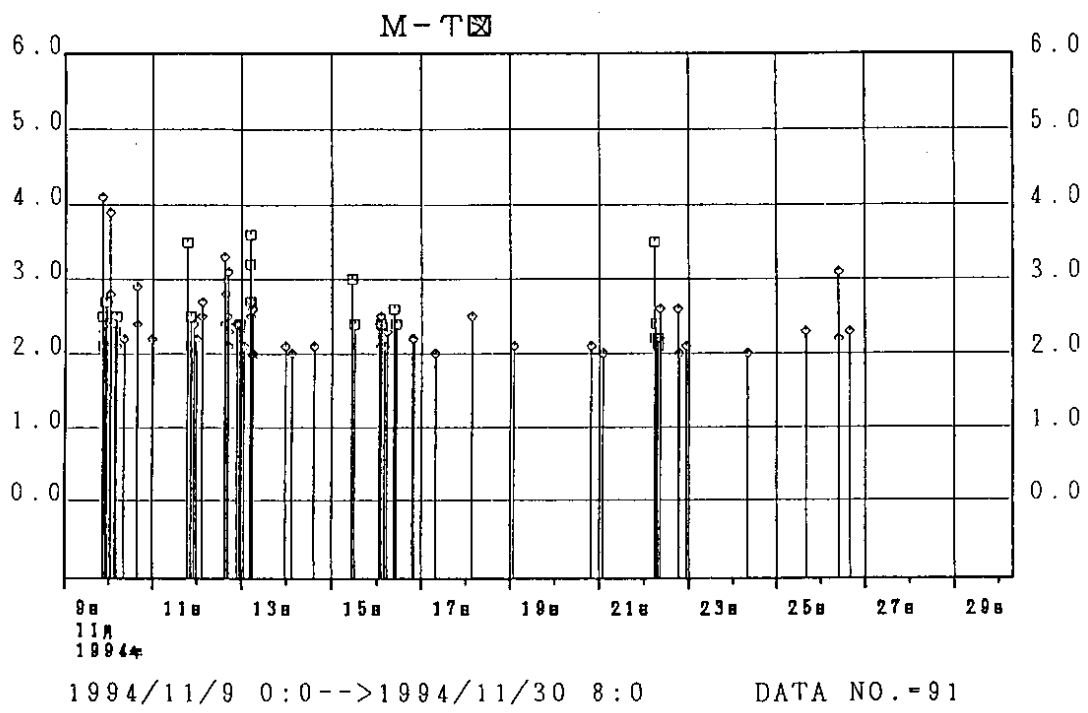
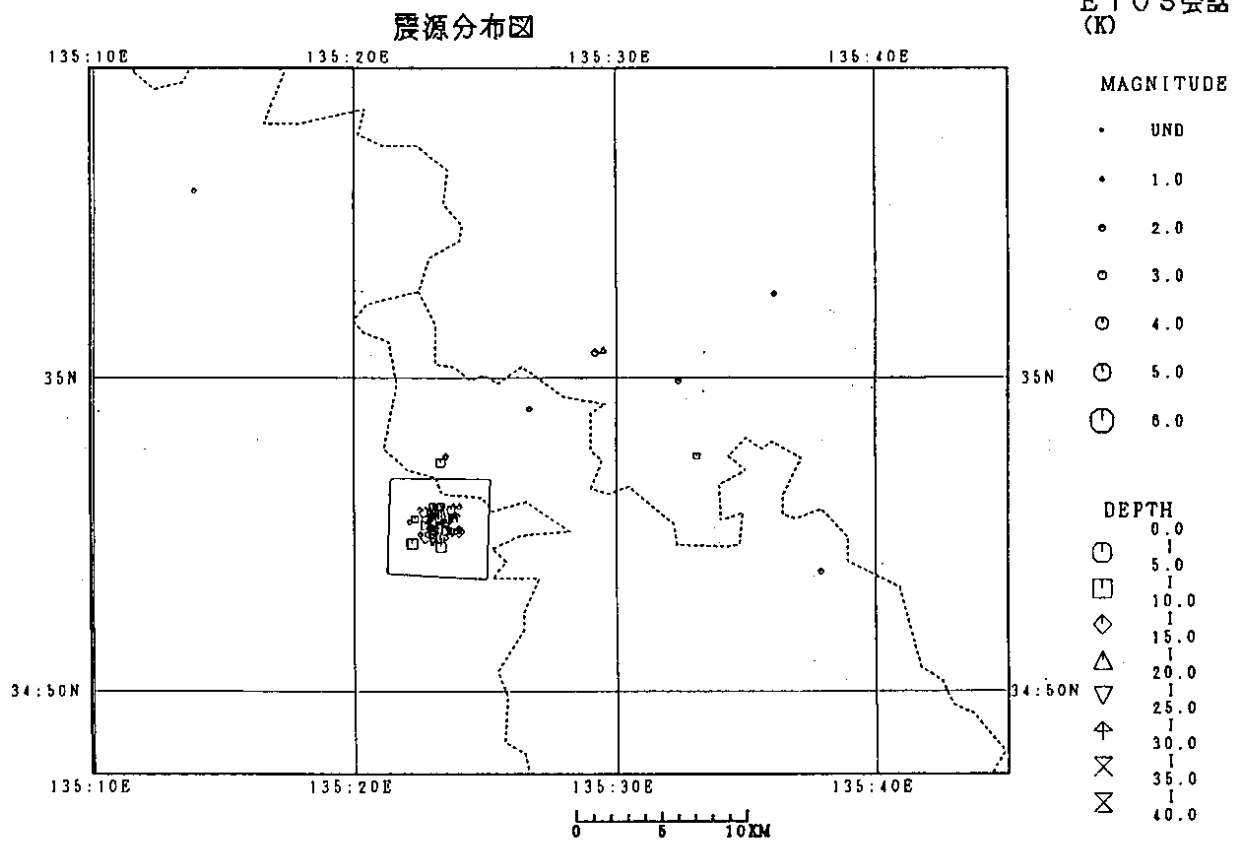


1994年11月10日 00時38分
 兵庫県南東部
 震源：北緯 34.9度
 東経 135.4度
 深さ 10km
 M : 3.9

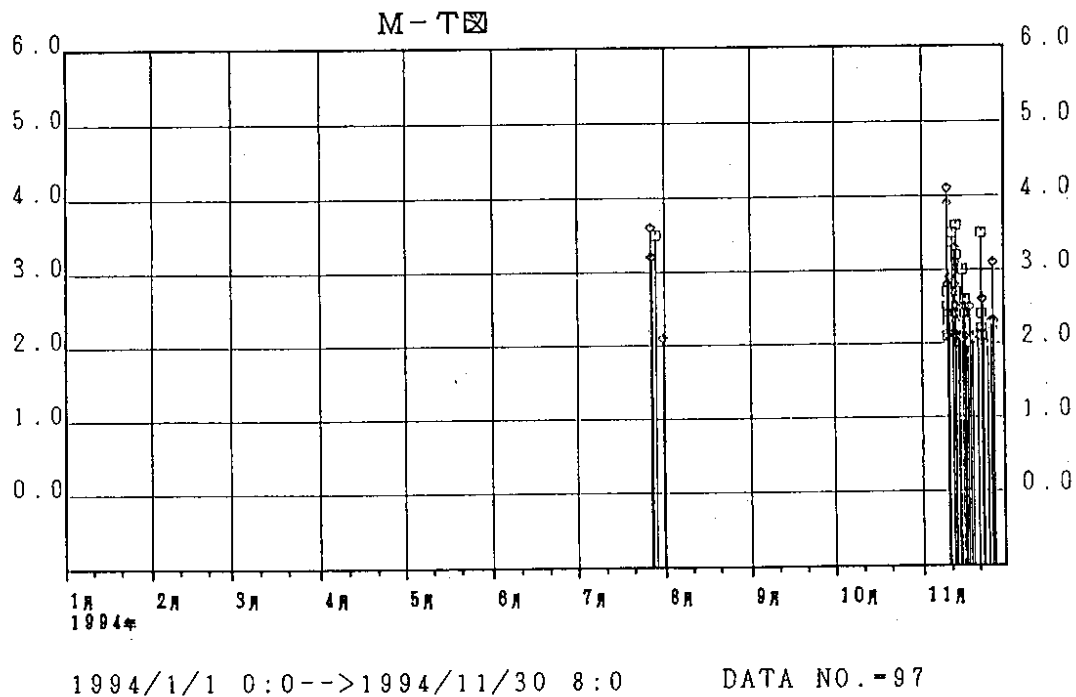
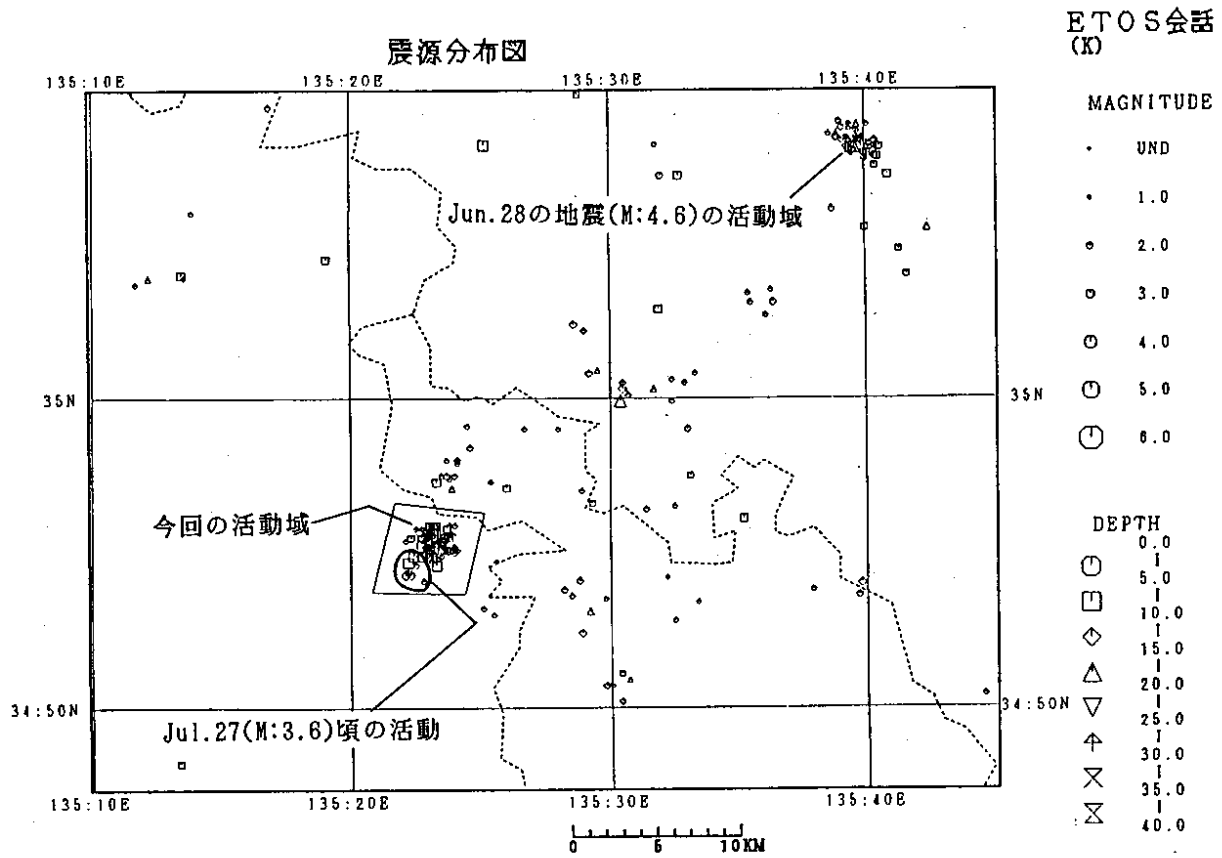
震度	官 署 名
2	奈良
1	津 上野 奈良県平群町 京都 大阪 神戸

第6図 兵庫県南東部の地震の震度分布図 (1994年11月10日0時38分 M3.9)

Fig. 6 Distribution of seismic intensities for the earthquake (M3.9) in the south - eastern part of the Hyogo Prefecture, November 10, 1994.

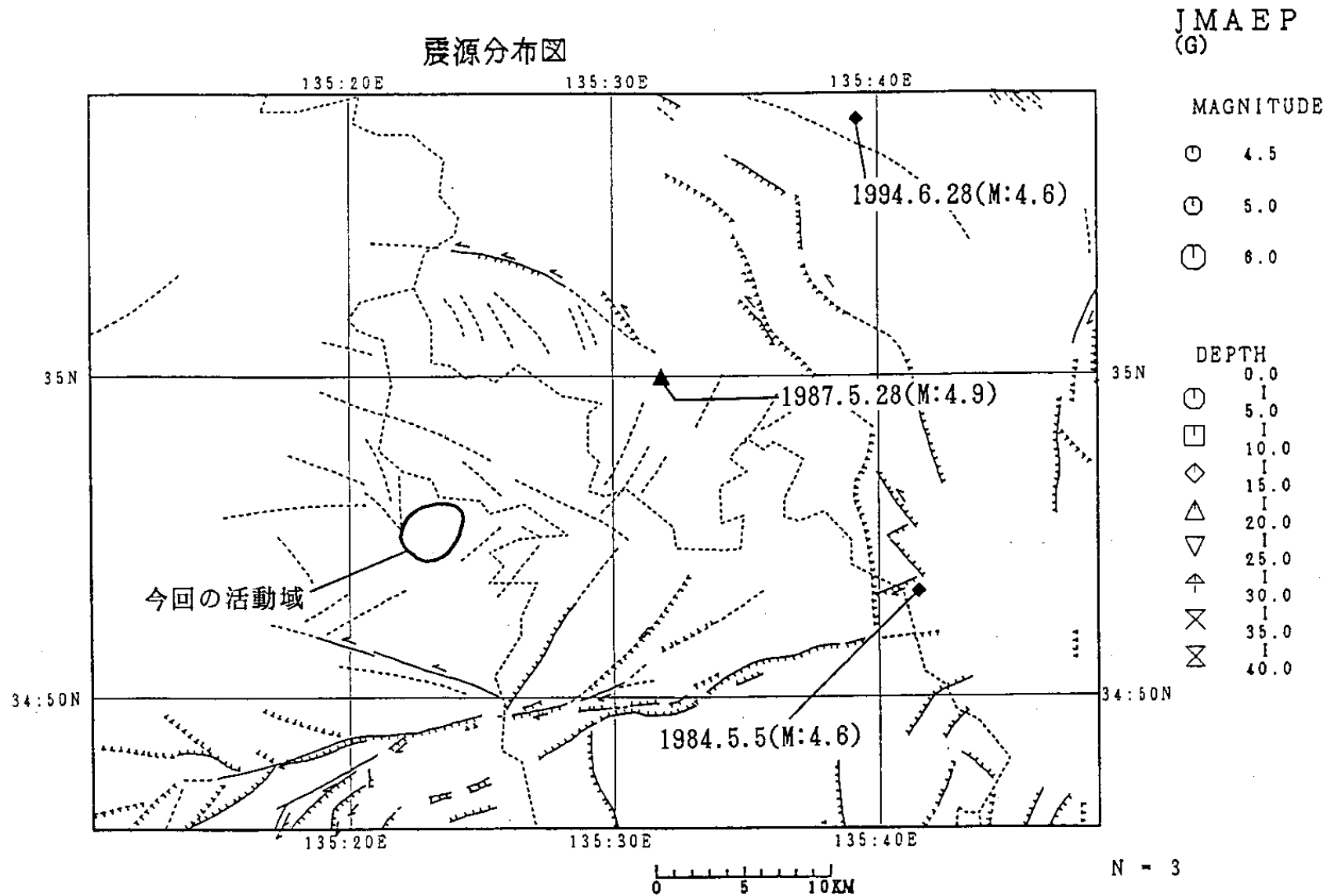


第7図 震源分布図およびM - T図 (1994年11月9日~11月30日)
Fig. 7 Hypocentral distribution and M-T diagram (November 9-30, 1994).



第8図 震源分布図およびM-T図(1994年1月1日~11月30日)

Fig. 8 Hypocentral distribution and M-T diagram (January 1-November 30, 1994).



第9図 震源分布図およびM - T図 (1984年1月1日~1994年11月30日)

Fig. 9 Hypocentral distribution (January 1, 1984-November 30, 1994).